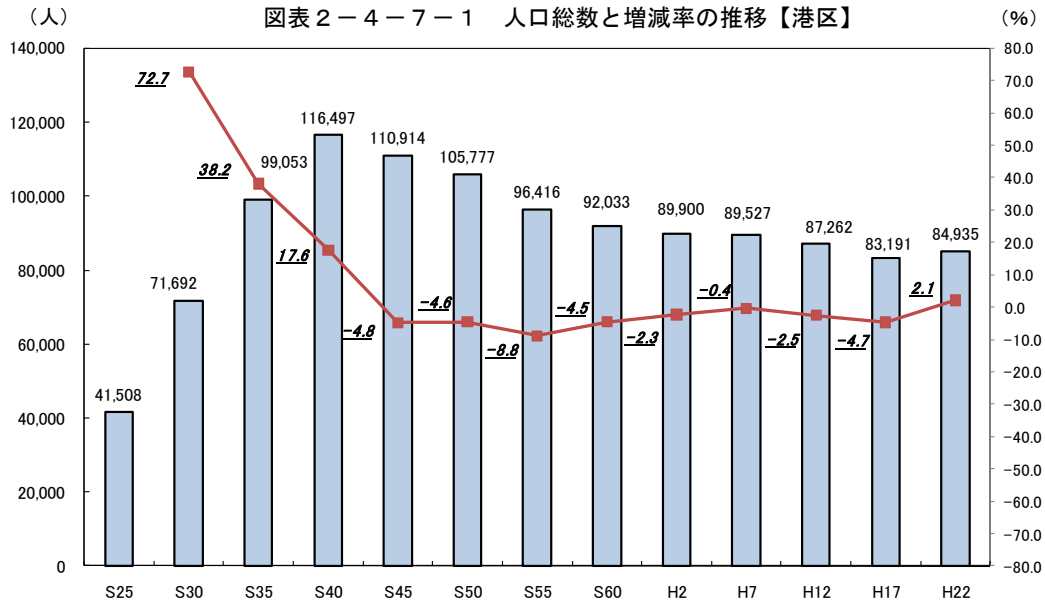


<7>港区

1. 人口の推移

・昭和40年から減少が続いてきたが、平成22年に増加に転じた。

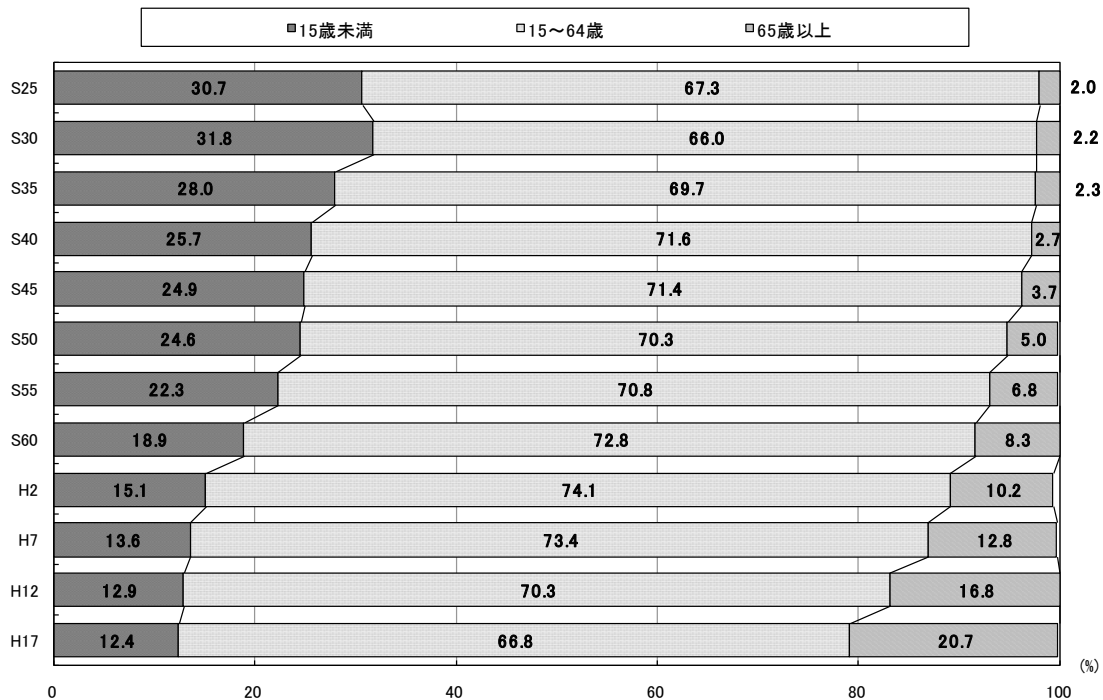


資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合が高く、老年人口割合も低い区であったが、近年は市全体の構成比と近似した割合になっている。

図表 2-4-7-2 年齢3区分別人口割合の推移【港区】



資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・昭和40年代は出生数の多い区の一つであったが、平成15年に自然減少に転じる。

図表 2-4-7-3 出生・死亡・自然増減数の推移【港区】

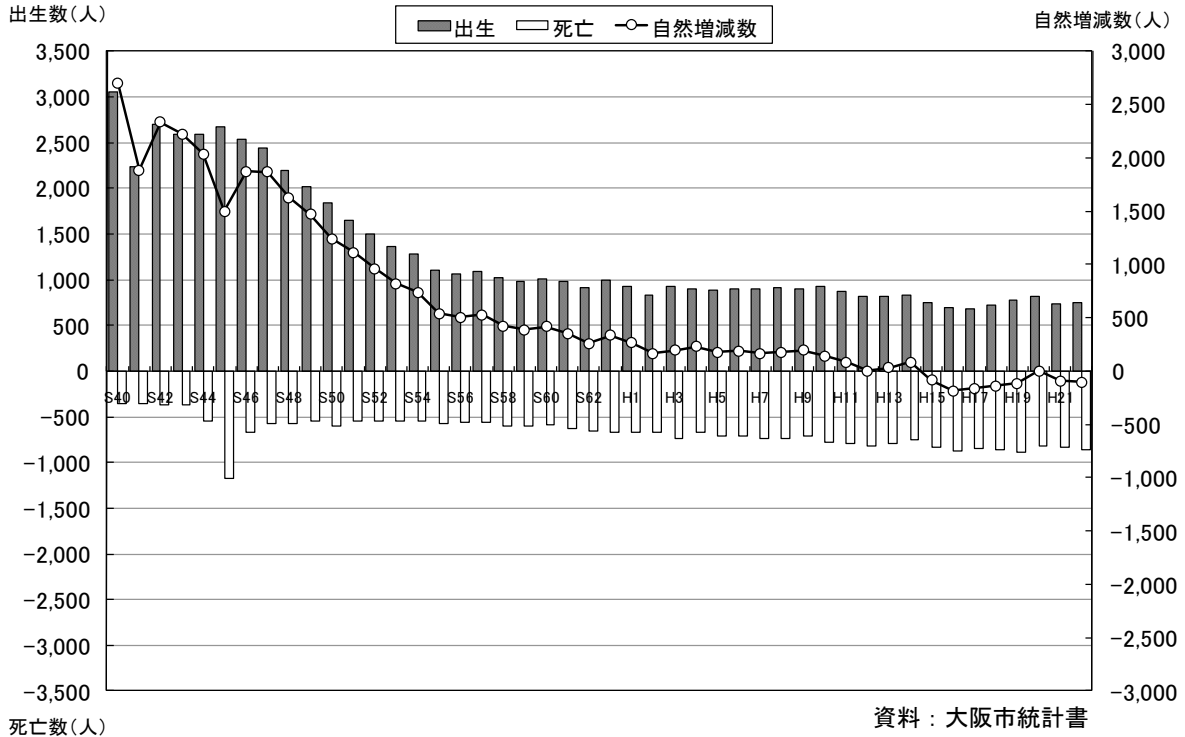


図 2-4-7-4 出生・死亡・自然増減数の推移【港区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	3,051	354	2,697	昭和63年	1,001	663	338
昭和41年	2,239	351	1,888	平成元年	927	663	264
昭和42年	2,705	371	2,334	平成2年	829	663	166
昭和43年	2,589	364	2,225	平成3年	932	734	198
昭和44年	2,587	550	2,037	平成4年	904	673	231
昭和45年	2,671	1,172	1,499	平成5年	891	713	178
昭和46年	2,544	668	1,876	平成6年	904	715	189
昭和47年	2,445	575	1,870	平成7年	906	737	169
昭和48年	2,202	576	1,626	平成8年	919	742	177
昭和49年	2,016	548	1,468	平成9年	907	710	197
昭和50年	1,839	596	1,243	平成10年	927	781	146
昭和51年	1,652	540	1,112	平成11年	876	792	84
昭和52年	1,503	542	961	平成12年	821	816	5
昭和53年	1,365	542	823	平成13年	819	789	30
昭和54年	1,284	546	738	平成14年	838	754	84
昭和55年	1,109	570	539	平成15年	751	838	△87
昭和56年	1,065	558	507	平成16年	692	879	△187
昭和57年	1,088	561	527	平成17年	677	840	△163
昭和58年	1,024	598	426	平成18年	721	856	△135
昭和59年	985	596	389	平成19年	771	886	△115
昭和60年	1,011	590	421	平成20年	817	812	5
昭和61年	976	624	352	平成21年	739	828	△89
昭和62年	910	652	258	平成22年	752	857	△105

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・平成5年を除き、社会減少が続いたが、平成17年に社会増加に転じた。しかし、平成22年は再び社会減少となっている。

図表2-4-7-5 転入・転出・社会増減数の推移【港区】

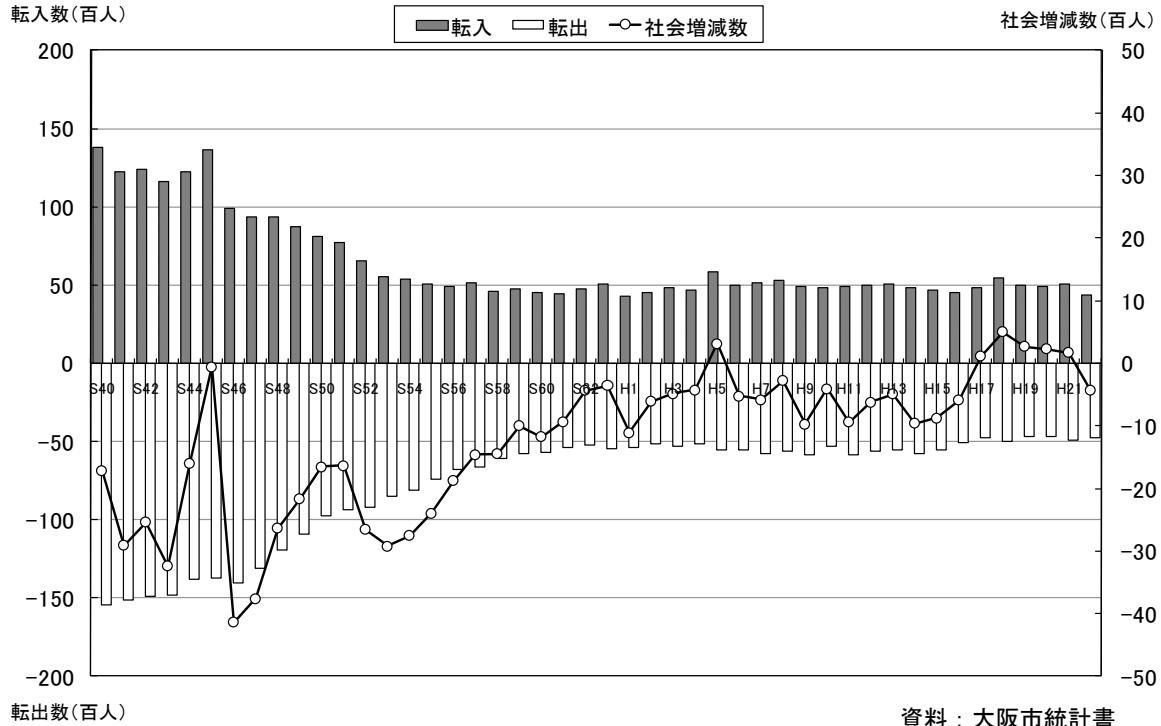


図2-4-7-6 転入・転出・社会増減数の推移【港区】

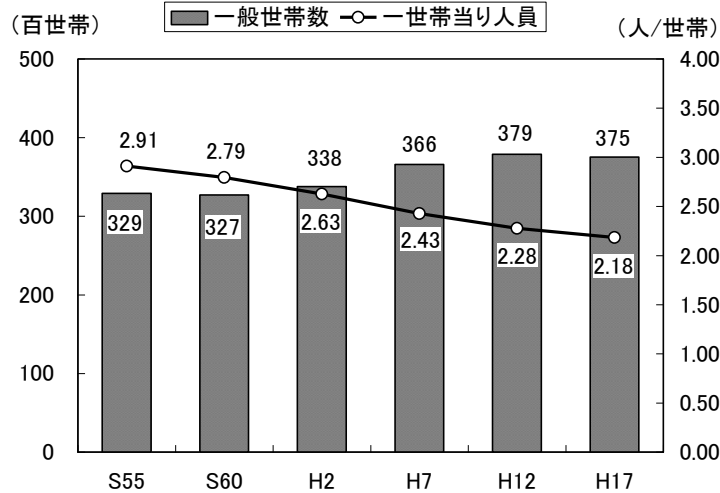
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	13,764	15,472	△1,708	昭和63年	5,067	5,420	△353
昭和41年	12,223	15,136	△2,913	平成元年	4,291	5,398	△1,107
昭和42年	12,364	14,905	△2,541	平成2年	4,547	5,158	△611
昭和43年	11,609	14,851	△3,242	平成3年	4,797	5,276	△479
昭和44年	12,231	13,824	△1,593	平成4年	4,714	5,140	△426
昭和45年	13,666	13,718	△52	平成5年	5,884	5,567	317
昭和46年	9,926	14,065	△4,139	平成6年	5,008	5,532	△524
昭和47年	9,371	13,128	△3,757	平成7年	5,155	5,736	△581
昭和48年	9,322	11,954	△2,632	平成8年	5,304	5,577	△273
昭和49年	8,739	10,908	△2,169	平成9年	4,885	5,858	△973
昭和50年	8,074	9,726	△1,652	平成10年	4,868	5,276	△408
昭和51年	7,756	9,384	△1,628	平成11年	4,934	5,872	△938
昭和52年	6,548	9,201	△2,653	平成12年	5,002	5,622	△620
昭和53年	5,560	8,480	△2,920	平成13年	5,069	5,566	△497
昭和54年	5,368	8,124	△2,756	平成14年	4,799	5,759	△960
昭和55年	5,047	7,438	△2,391	平成15年	4,671	5,539	△868
昭和56年	4,877	6,756	△1,879	平成16年	4,516	5,101	△585
昭和57年	5,146	6,601	△1,455	平成17年	4,837	4,728	109
昭和58年	4,614	6,058	△1,444	平成18年	5,474	4,971	503
昭和59年	4,758	5,760	△1,002	平成19年	4,977	4,709	268
昭和60年	4,514	5,685	△1,171	平成20年	4,918	4,686	232
昭和61年	4,457	5,387	△930	平成21年	5,096	4,923	173
昭和62年	4,788	5,226	△438	平成22年	4,350	4,784	△434

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は増加傾向にあったが、平成17年に減少。一世帯当り人員は市全体の水準より高めで推移。

図表2-4-7-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【港区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
港区	一般世帯数	32,895	32,704	33,753	36,576	37,863	37,521
	一世帯当り人員	2.91	2.79	2.63	2.43	2.28	2.18
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

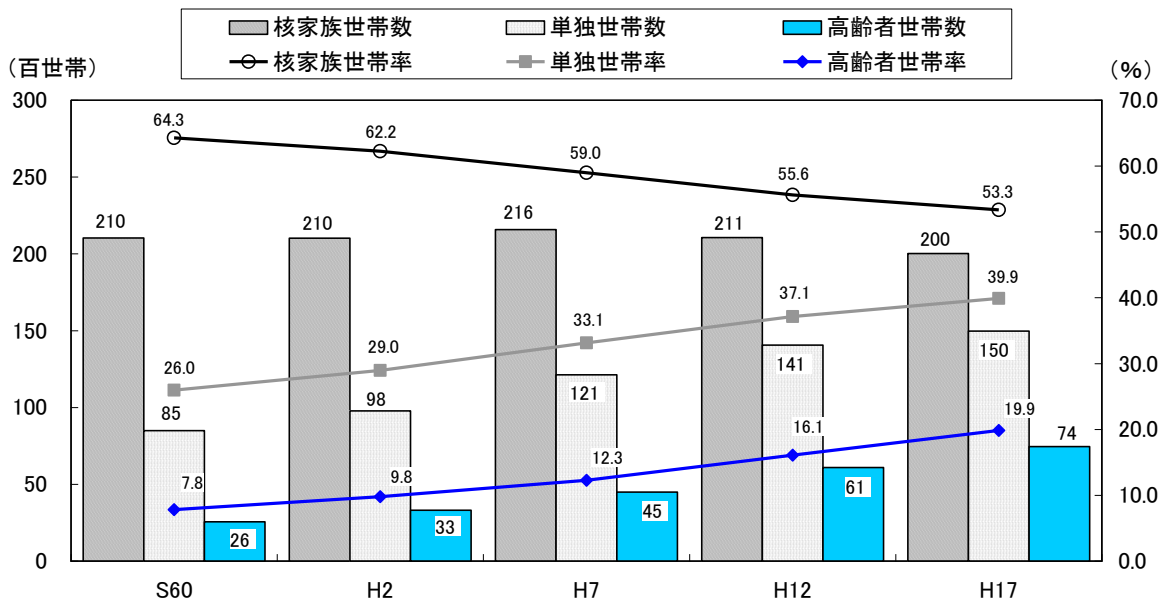
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・核家族世帯数はほぼ横ばい。単独世帯と高齢者世帯が増加傾向にある。

図表2-4-7-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【港区】

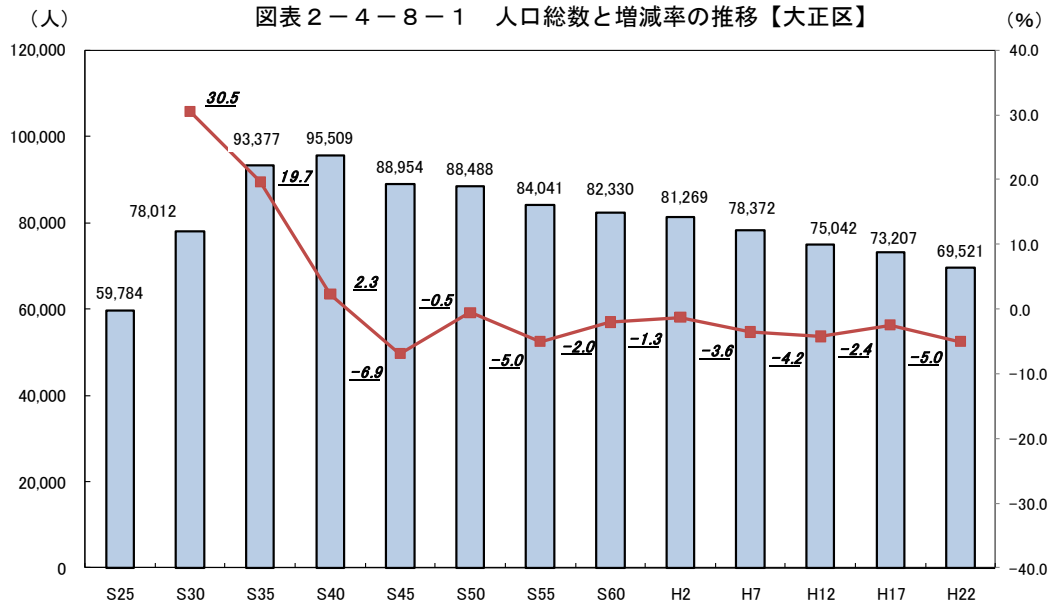


資料：国勢調査

< 8 > 大正区

1. 人口の推移

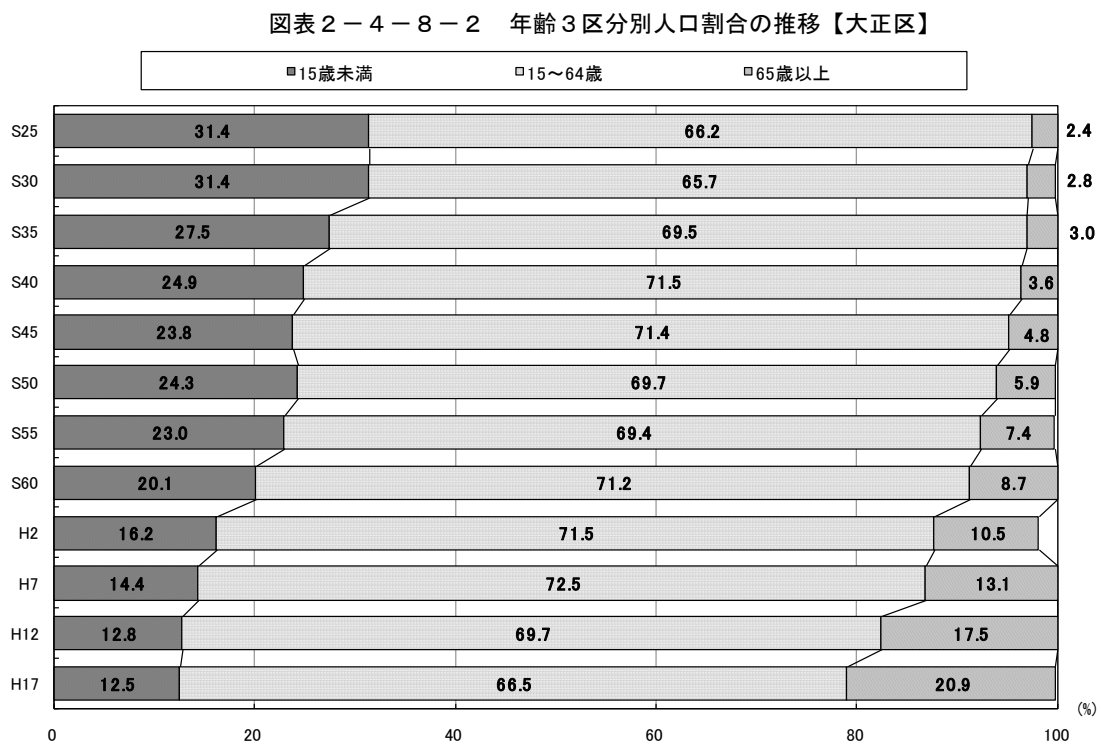
・昭和40年をピークにして、それ以降は人口減少が続く。平成22年では6万人台に。



資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合は低下傾向にあり、老年人口割合は上昇している。



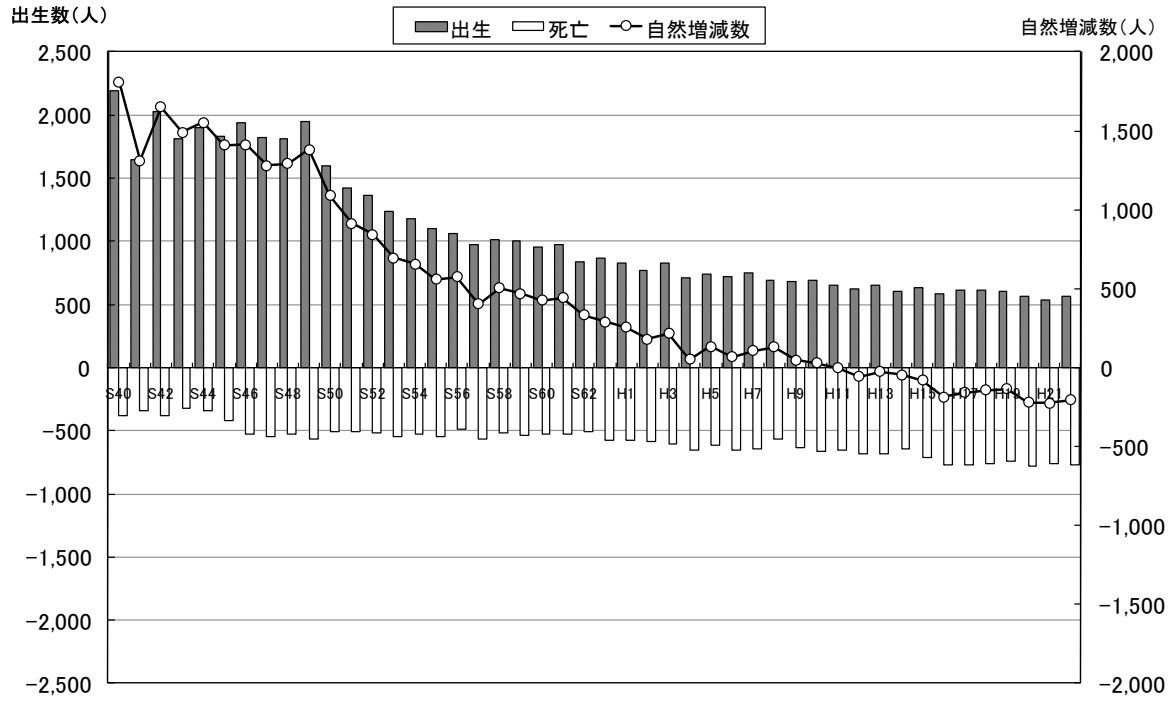
資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・平成11年に初めて自然減少に転じ、以降は減少幅が拡大傾向にある。

図表 2-4-8-3 出生・死亡・自然増減数の推移【大正区】



資料：大阪市統計書

図 2-4-8-4 出生・死亡・自然増減数の推移【大正区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	2,195	384	1,811	昭和63年	868	577	291
昭和41年	1,649	337	1,312	平成元年	832	577	255
昭和42年	2,028	378	1,650	平成2年	767	586	181
昭和43年	1,809	317	1,492	平成3年	826	608	218
昭和44年	1,898	346	1,552	平成4年	707	654	53
昭和45年	1,828	417	1,411	平成5年	744	610	134
昭和46年	1,938	524	1,414	平成6年	724	654	70
昭和47年	1,821	541	1,280	平成7年	750	642	108
昭和48年	1,815	523	1,292	平成8年	696	567	129
昭和49年	1,948	567	1,381	平成9年	684	634	50
昭和50年	1,596	506	1,090	平成10年	689	658	31
昭和51年	1,424	510	914	平成11年	654	657	△3
昭和52年	1,360	515	845	平成12年	625	680	△55
昭和53年	1,237	541	696	平成13年	657	684	△27
昭和54年	1,183	528	655	平成14年	600	643	△43
昭和55年	1,103	543	560	平成15年	632	710	△78
昭和56年	1,061	487	574	平成16年	584	771	△187
昭和57年	975	570	405	平成17年	610	769	△159
昭和58年	1,018	514	504	平成18年	618	762	△144
昭和59年	1,004	533	471	平成19年	603	738	△135
昭和60年	957	530	427	平成20年	561	782	△221
昭和61年	971	530	441	平成21年	539	763	△224
昭和62年	837	505	332	平成22年	562	766	△204

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・平成 15、16 年を除き、社会減少が続く。減少幅の推移に変化が少なく、減少幅の拡大はみられない。

図表 2-4-8-5 転入・転出・社会増減数の推移【大正区】

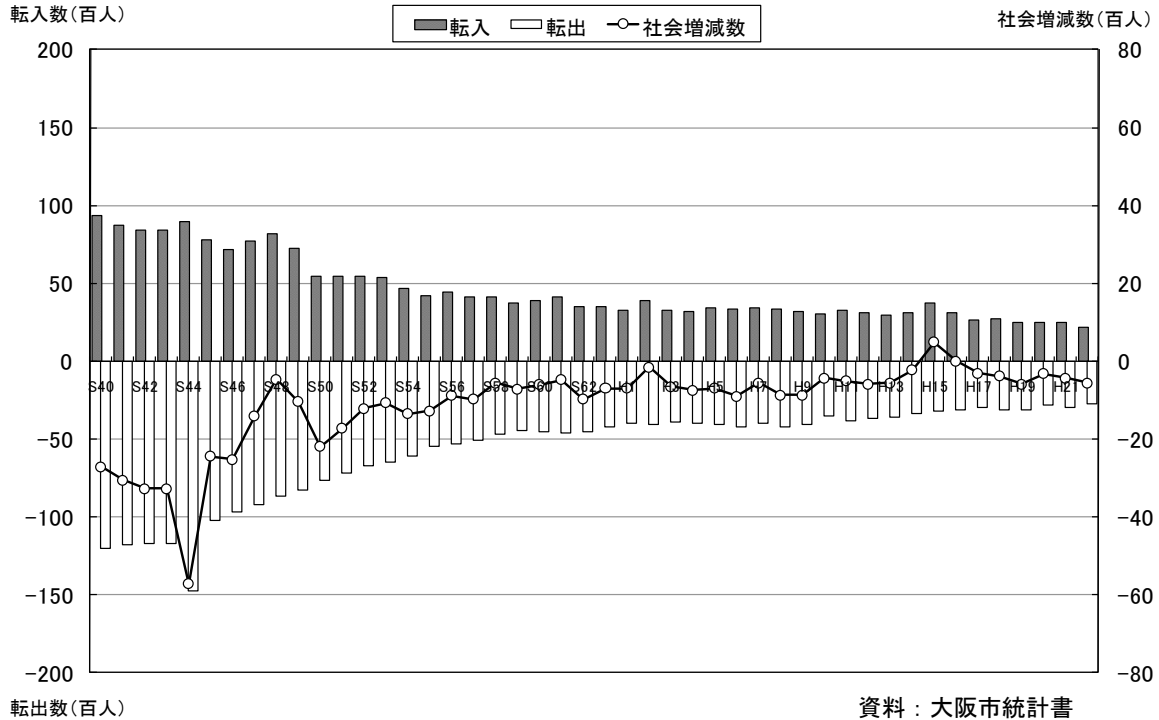


図 2-4-8-6 転入・転出・社会増減数の推移【大正区】

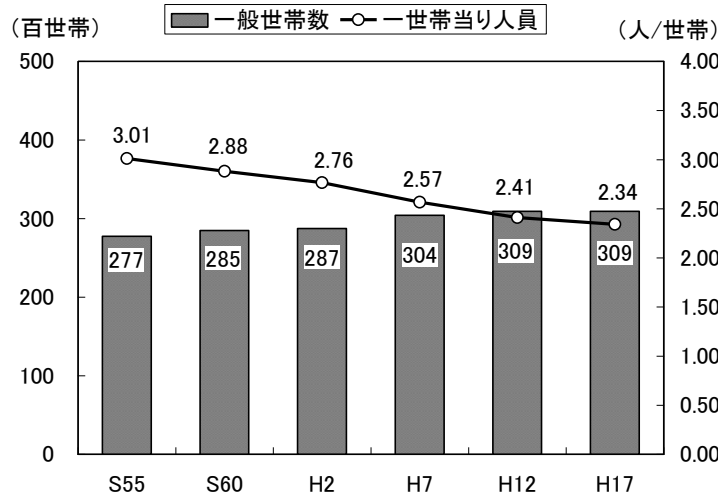
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和 40 年	9,346	12,046	△2,700	昭和 63 年	3,477	4,175	△698
昭和 41 年	8,735	11,779	△3,044	平成元年	3,305	3,999	△694
昭和 42 年	8,456	11,727	△3,271	平成 2 年	3,927	4,082	△155
昭和 43 年	8,420	11,681	△3,261	平成 3 年	3,270	3,911	△641
昭和 44 年	9,005	14,719	△5,714	平成 4 年	3,214	3,960	△746
昭和 45 年	7,764	10,207	△2,443	平成 5 年	3,393	4,084	△691
昭和 46 年	7,177	9,689	△2,512	平成 6 年	3,334	4,224	△890
昭和 47 年	7,753	9,164	△1,411	平成 7 年	3,420	3,966	△546
昭和 48 年	8,226	8,689	△463	平成 8 年	3,381	4,244	△863
昭和 49 年	7,223	8,262	△1,039	平成 9 年	3,166	4,029	△863
昭和 50 年	5,479	7,663	△2,184	平成 10 年	3,061	3,491	△430
昭和 51 年	5,464	7,190	△1,726	平成 11 年	3,286	3,790	△504
昭和 52 年	5,477	6,691	△1,214	平成 12 年	3,094	3,679	△585
昭和 53 年	5,398	6,474	△1,076	平成 13 年	2,993	3,551	△558
昭和 54 年	4,693	6,044	△1,351	平成 14 年	3,104	3,331	△227
昭和 55 年	4,215	5,493	△1,278	平成 15 年	3,713	3,216	497
昭和 56 年	4,414	5,300	△886	平成 16 年	3,124	3,110	14
昭和 57 年	4,126	5,099	△973	平成 17 年	2,659	2,958	△299
昭和 58 年	4,118	4,671	△553	平成 18 年	2,719	3,096	△377
昭和 59 年	3,706	4,410	△704	平成 19 年	2,520	3,110	△590
昭和 60 年	3,889	4,494	△605	平成 20 年	2,508	2,820	△312
昭和 61 年	4,138	4,612	△474	平成 21 年	2,511	2,938	△427
昭和 62 年	3,519	4,495	△976	平成 22 年	2,213	2,765	△552

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は微増。一世帯当り人員は減少傾向であるが、市全体の水準を上回っている。

図表 2-4-8-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【大正区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
大正区	一般世帯数	27,749	28,477	28,740	30,395	30,902	30,924
	一世帯当り人員	3.01	2.88	2.76	2.57	2.41	2.34
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

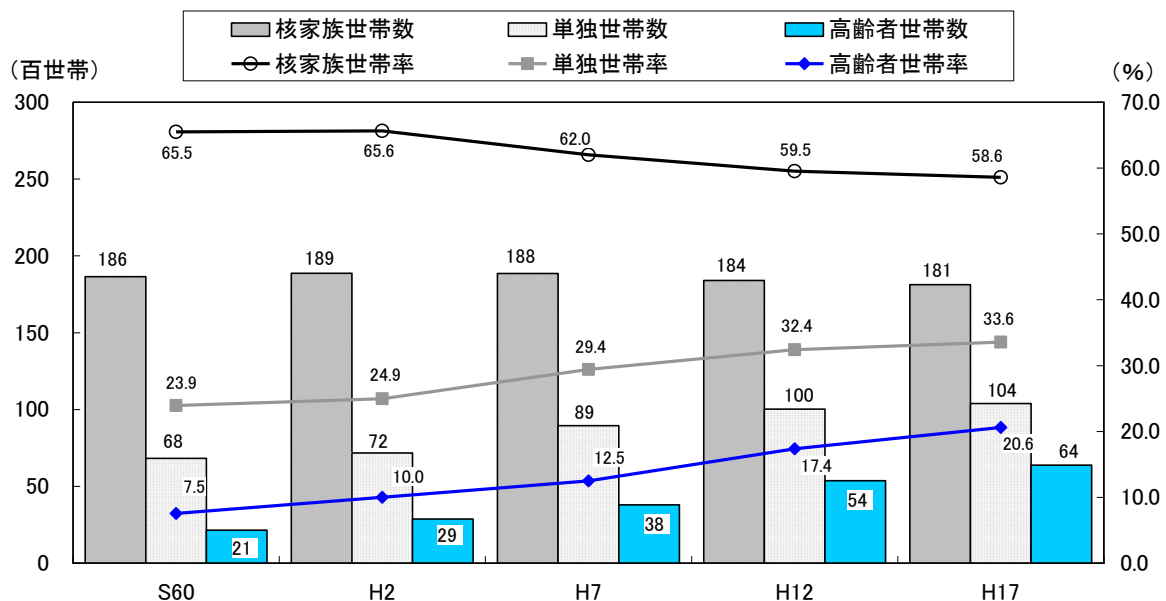
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・核家族世帯数は横ばいで、核家族世帯率は市全体より高い。高齢者世帯数の増加幅が大きくなっている。

図表 2-4-8-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【大正区】

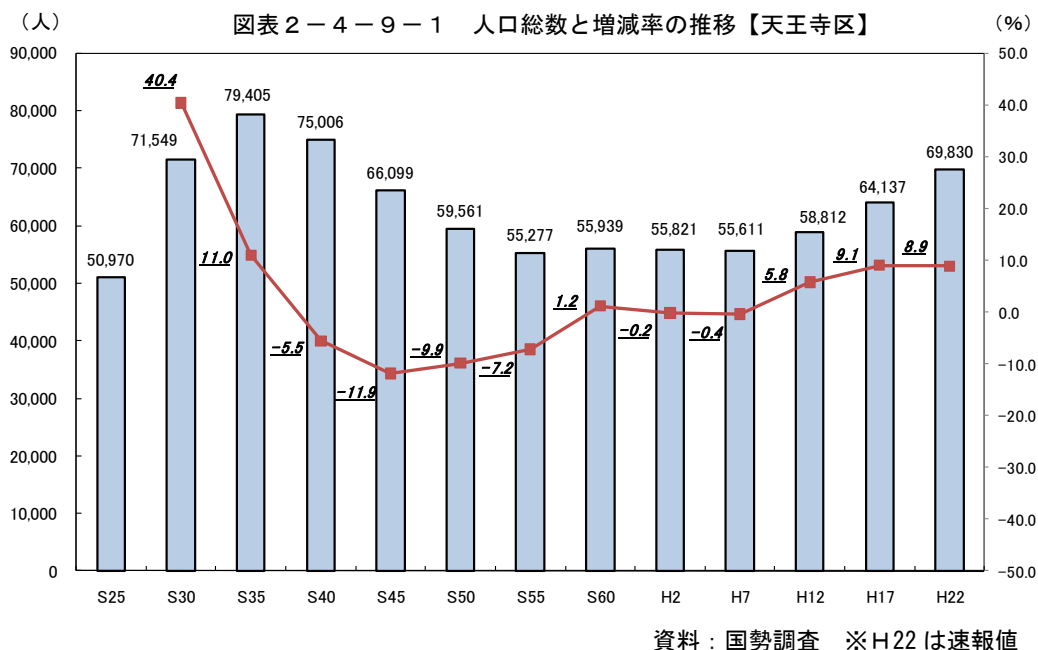


資料：国勢調査

< 9 > 天王寺区

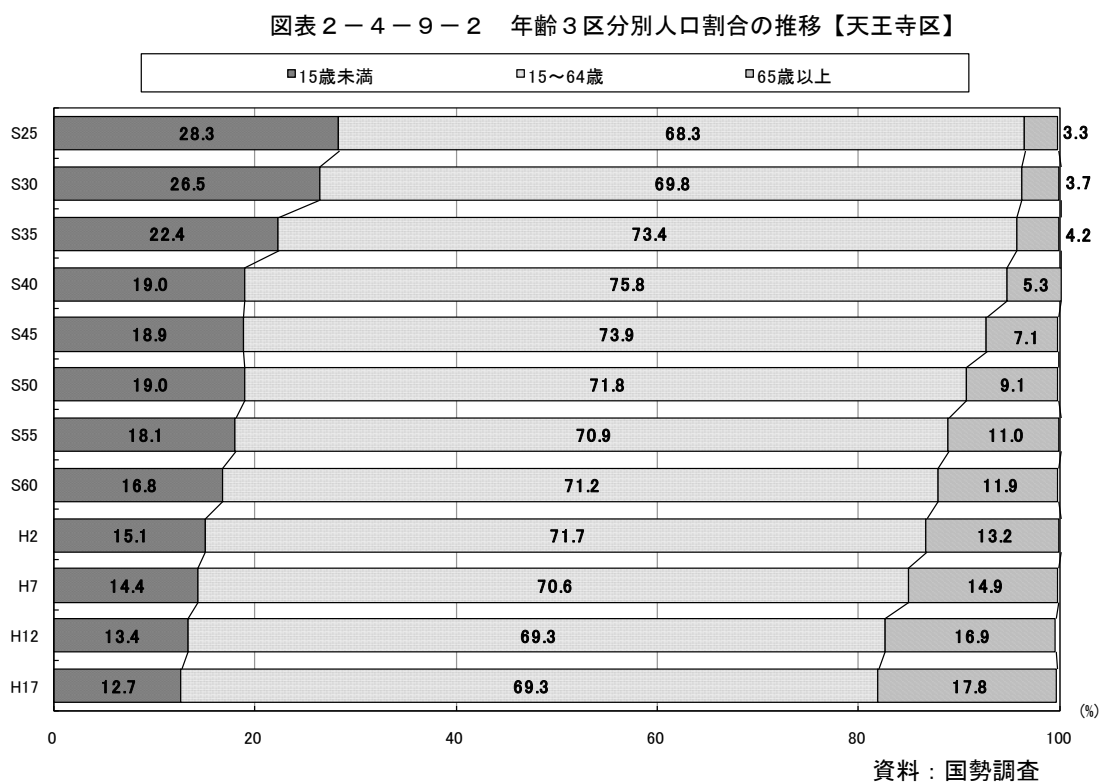
1. 人口の推移

・昭和35年をピークに人口は減少。平成12年から増加に転じ、大幅な増加が続く。



2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合は低下傾向。老年人口割合は上昇傾向。大幅な変化なく推移している。



注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・平成11年に自然減少となる。その後増減はあるものの、自然増加傾向に転じている。

図表2-4-9-3 出生・死亡・自然増減数の推移【天王寺区】

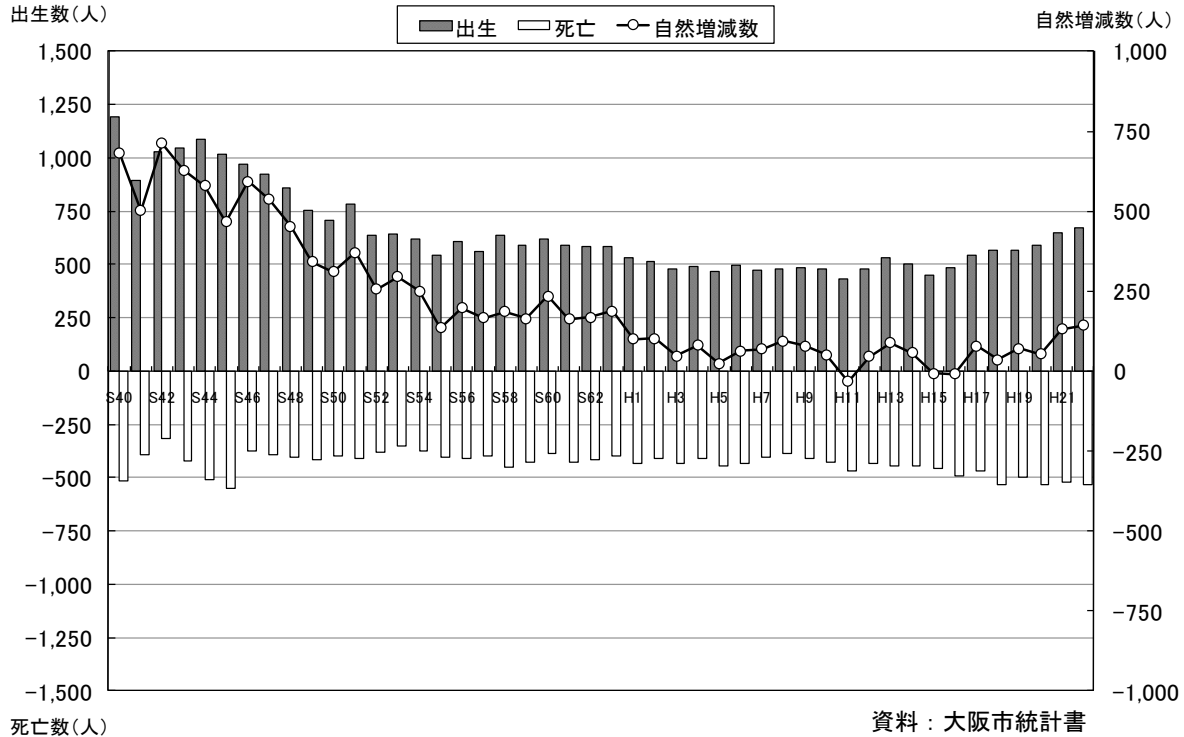


図2-4-9-4 出生・死亡・自然増減数の推移【天王寺区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	1,195	514	681	昭和63年	584	395	189
昭和41年	893	391	502	平成元年	531	430	101
昭和42年	1,030	317	713	平成2年	512	410	102
昭和43年	1,047	419	628	平成3年	482	434	48
昭和44年	1,090	510	580	平成4年	493	412	81
昭和45年	1,017	550	467	平成5年	470	445	25
昭和46年	968	375	593	平成6年	495	431	64
昭和47年	926	389	537	平成7年	475	406	69
昭和48年	859	406	453	平成8年	482	388	94
昭和49年	756	414	342	平成9年	487	408	79
昭和50年	710	400	310	平成10年	481	429	52
昭和51年	783	411	372	平成11年	433	466	△33
昭和52年	639	382	257	平成12年	477	431	46
昭和53年	644	348	296	平成13年	534	446	88
昭和54年	622	372	250	平成14年	503	446	57
昭和55年	541	405	136	平成15年	448	454	△6
昭和56年	610	412	198	平成16年	483	491	△8
昭和57年	562	396	166	平成17年	543	465	78
昭和58年	635	449	186	平成18年	570	533	37
昭和59年	590	426	164	平成19年	570	499	71
昭和60年	618	384	234	平成20年	589	535	54
昭和61年	589	426	163	平成21年	650	518	132
昭和62年	583	415	168	平成22年	675	532	143

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・社会増加と減少を繰り返してきたが、平成11年からは大幅な社会増加が続いている。

図表2-4-9-5 転入・転出・社会増減数の推移【天王寺区】

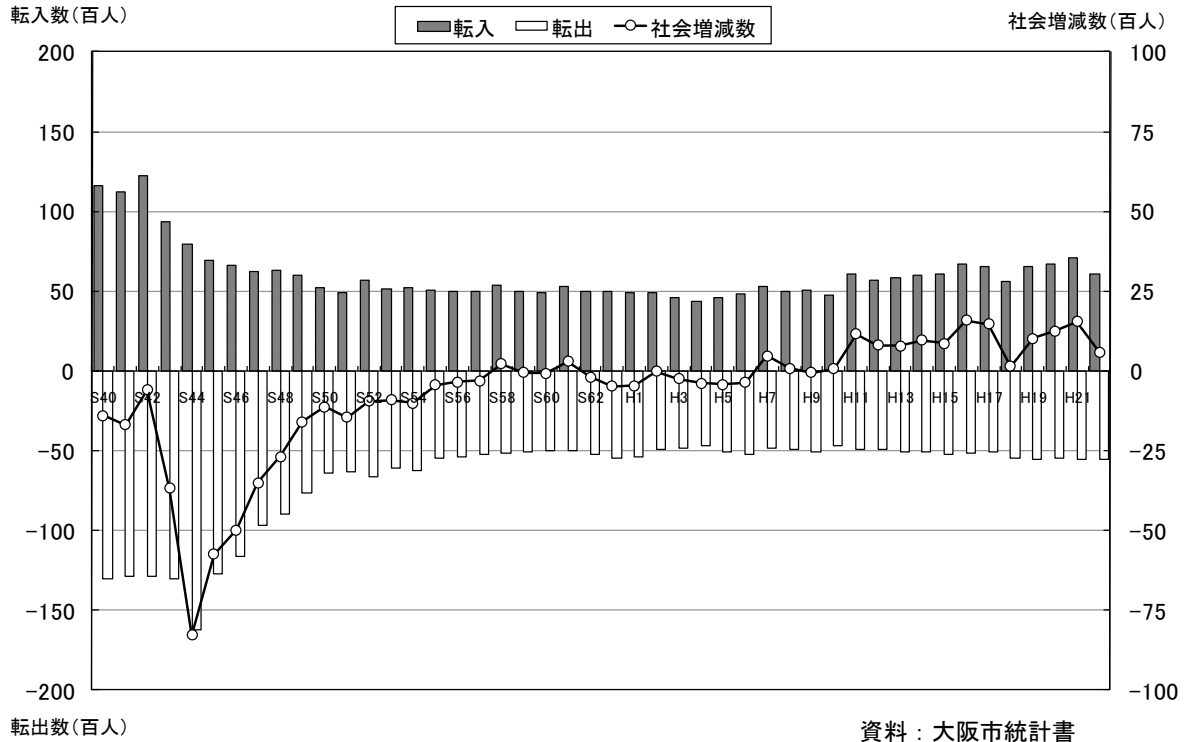


図2-4-9-6 転入・転出・社会増減数の推移【天王寺区】

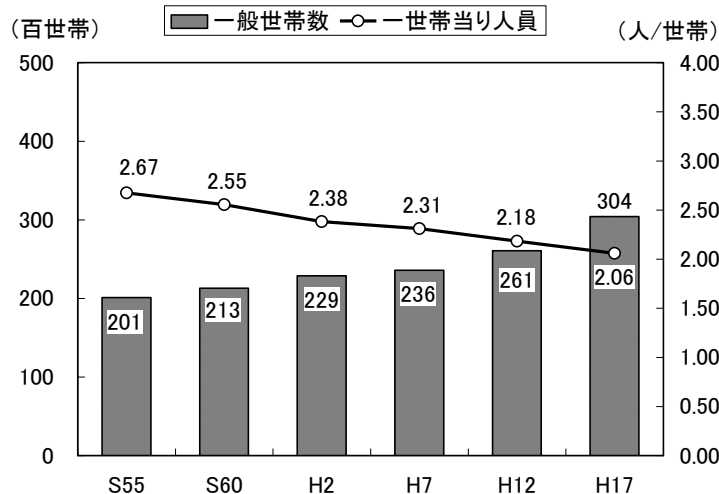
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	11,631	13,033	△1,402	昭和63年	4,982	5,453	△471
昭和41年	11,201	12,886	△1,685	平成元年	4,937	5,400	△463
昭和42年	12,257	12,861	△604	平成2年	4,930	4,946	△16
昭和43年	9,324	12,999	△3,675	平成3年	4,605	4,844	△239
昭和44年	7,915	16,199	△8,284	平成4年	4,332	4,710	△378
昭和45年	6,977	12,714	△5,737	平成5年	4,608	5,035	△427
昭和46年	6,624	11,607	△4,983	平成6年	4,830	5,193	△363
昭和47年	6,201	9,700	△3,499	平成7年	5,340	4,853	487
昭和48年	6,294	8,981	△2,687	平成8年	5,001	4,917	84
昭和49年	6,007	7,605	△1,598	平成9年	5,054	5,096	△42
昭和50年	5,240	6,358	△1,118	平成10年	4,739	4,670	69
昭和51年	4,886	6,345	△1,459	平成11年	6,069	4,912	1,157
昭和52年	5,725	6,662	△937	平成12年	5,727	4,927	800
昭和53年	5,158	6,061	△903	平成13年	5,861	5,070	791
昭和54年	5,242	6,246	△1,004	平成14年	6,017	5,058	959
昭和55年	5,032	5,479	△447	平成15年	6,082	5,206	876
昭和56年	5,005	5,354	△349	平成16年	6,707	5,109	1,598
昭和57年	4,956	5,254	△298	平成17年	6,561	5,091	1,470
昭和58年	5,347	5,126	221	平成18年	5,625	5,476	149
昭和59年	4,985	5,039	△54	平成19年	6,528	5,498	1,030
昭和60年	4,929	4,998	△69	平成20年	6,742	5,475	1,267
昭和61年	5,309	5,006	303	平成21年	7,065	5,518	1,547
昭和62年	5,017	5,211	△194	平成22年	6,115	5,525	590

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は昭和55年以降増加。一世帯当り人員は、市全体を下回って推移している。

図表2-4-9-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【天王寺区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
天王寺区	一般世帯数	20,094	21,284	22,870	23,568	26,054	30,410
	一世帯当り人員	2.67	2.55	2.38	2.31	2.18	2.06
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

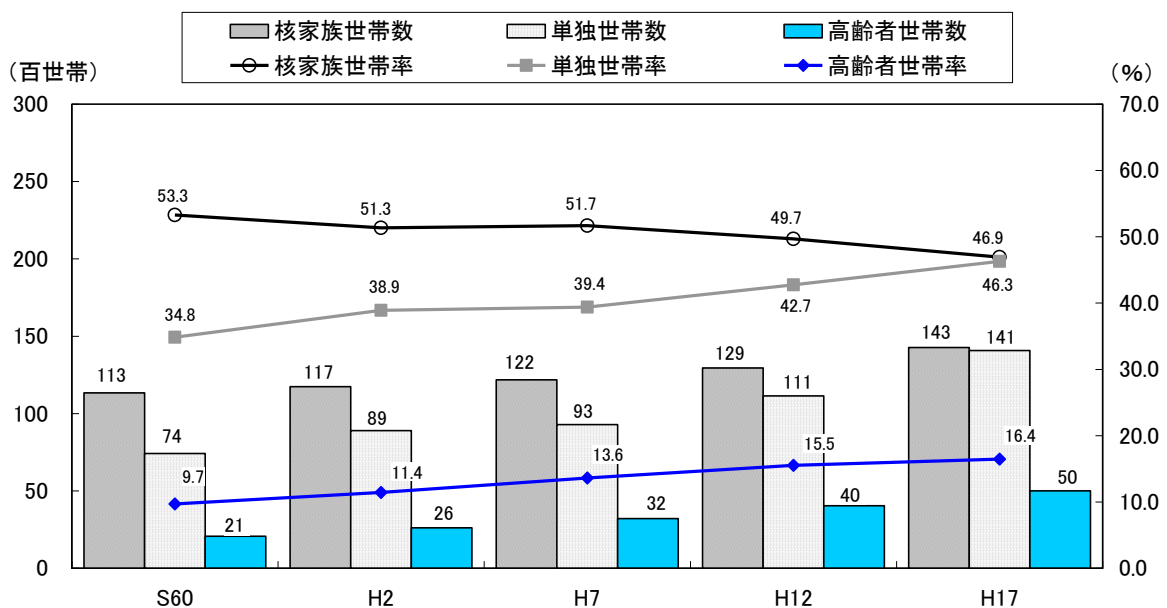
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・それぞれの世帯数が増加傾向。核家族世帯数と単独世帯数の差が縮小している。

図表2-4-9-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【天王寺区】



資料：国勢調査